

平成 26 年 1 月 29 日

各 位

株式会社システム・テクノロジー・アイ
代表取締役社長 松 岡 秀 紀
(証券コード:2345) 東証マザーズ
東京都中央区築地一丁目 13 番 14 号
(お問い合わせ先) 常務執行役員管理本部長 内山 富士子
電話 03-5148-0400

(訂正) 「平成 26 年 3 月期 第 3 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の 一部訂正について

平成 26 年 1 月 29 日午後 1 時に公表いたしました「平成 26 年 3 月期 第 3 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部に訂正がありましたので、下記のとおりお知らせいたします。訂正箇所は下線を付して表示しております。

記

(訂正前)

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第 3 四半期連結累計期間におけるわが国経済は、円高・株高の影響を受け企業の景気回復傾向に明るさが感じられ景気は緩やかに持ち直しているものの、景気の先行きは、依然として不透明な状況にあります。

このような状況の中、当社グループでは、引き続き販売パートナーとの協業体制及び、ペーパーレスソリューション製品やiStudy Enterprise Server関連製品の販売、サポート体制強化、医療系人材紹介の拡大に注力いたしました。また11月には、当社の認知度向上及び来期につながる案件の掘り起こしのため、人材育成担当者様向けe-ラーニング及びラーニングプラットフォーム導入事例紹介セミナーを実施いたしました。

当第 3 四半期連結累計期間の売上高は、794,582千円（前年同期比19.1%増）、営業利益31,175千円（前年同期は15,473千円の損失）、経常利益29,184千円（前年同期は18,575千円の損失）、四半期純利益21,178千円（前年同期は28,765千円の損失）となりました。

[人材紹介・派遣事業]

人材紹介・派遣事業につきましては、医療系を中心に企業の人材需要が高まり人材派遣、業務委託等が好調に推移いたしました。IT系につきましては、先行してスキルの高い人材確保を積極的に行っており人件費が増加したため、前年同期に比べ売上高は大幅に増加したもののセグメント利益は減少いたしました。

その結果、売上高162,420千円（前年同期比72.0%増）、セグメント損失4,491千円（前年同期は567千円の利益）となりました。

(訂正後)

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、円高・株高の影響を受け企業の景気回復傾向に明るさが感じられ景気は緩やかに持ち直しているものの、景気の先行きは、依然として不透明な状況にあります。

このような状況の中、当社グループでは、引き続き販売パートナーとの協業体制及び、ペーパーレスソリューション製品やiStudy Enterprise Server関連製品の販売、サポート体制強化、医療系人材紹介の拡大に注力いたしました。また11月には、当社の認知度向上及び来期につながる案件の掘り起こしのため、人材育成担当者様向けe-ラーニング及びラーニングプラットフォーム導入事例紹介セミナーを実施いたしました。

当第3四半期連結累計期間の売上高は、794,582千円（前年同期比19.1%増）、営業利益31,175千円（前年同期は15,473千円の損失）、経常利益29,184千円（前年同期は18,800千円の損失）、四半期純利益21,178千円（前年同期は28,765千円の損失）となりました。

[人材紹介・派遣事業]

人材紹介・派遣事業につきましては、医療系を中心に企業の人材需要が高まり人材派遣、業務委託等が好調に推移いたしました。IT系につきましては、先行してスキルの高い人材確保を積極的に行っており人件費が増加したため、前年同期に比べ売上高は大幅に増加したもののセグメント利益は減少いたしました。

その結果、売上高162,420千円（前年同期比72.0%増）、セグメント損失4,911千円（前年同期は567千円の利益）となりました。

以上